



報道発表

最新の調査成果を盛り込んだ 蜷塚遺跡のパンフレットを作成しました

浜松市の文化財を紹介する「浜松の文化財」シリーズの第6弾として、蜷塚遺跡のパンフレットを作成しました。

蜷塚遺跡は、縄文時代の貝塚を伴う集落遺跡で国の指定史跡です。浜松市では令和4（2022）年に蜷塚遺跡保存活用計画を策定し、同遺跡の整備事業に着手しています。

今回のパンフレットは、近年進展が著しい縄文時代研究の成果を参考に作成したもので、遺跡見学時の参考とするなど、今後の史跡活用を見越した内容となっています。なお、蜷塚遺跡を紹介する冊子の作成は約30年ぶりとなります。

パンフレットは下記のとおり市民の皆さんに配布するとともに、パンフレットの配布開始に合わせて、蜷塚遺跡と出土品の見学ツアーを開催します。

記

1 パンフレット「史跡 蜷塚遺跡」（浜松の文化財6）

- (1) 概要
- ・蜷塚遺跡の特徴と縄文時代の暮らしについて紹介
 - ・体裁：A4判 見開き4頁
- (2) 配布開始日 令和6年5月1日（水）
- (3) 配布部数 600部 ※無料。在庫がなくなり次第配布を終了
- (4) 配布場所
- ①浜松市博物館（月曜日休館）
 - ②浜松市地域遺産センター（月曜日休館）
 - ③浜松市役所文化財課（本館3階）（土・日曜日及び祝日は閉庁）
- ※配布開始日より市ホームページ（「はままつの文化財」）でもダウンロード可能です。

2 関連事業「蜷塚の縄文ツアー」

- (1) 日時 令和6年5月4日（日）①午前9時30分～②午後1時30分～（各60分）
- (2) 場所 蜷塚遺跡及び浜松市博物館
- (3) 内容 パンフレットを使って蜷塚遺跡と浜松市博物館（出土品等）を見学しながら、遺跡の特徴や縄文時代の暮らしについて学びます。
- (4) 定員 各回30人
- (5) 申込 当日受付（先着順） ※各回30分前から博物館エントランスにて受付開始
- (6) 費用 博物館観覧料が必要（中学生以下、70歳以上の方は無料）

